

# 進路だより



富岡特別支援学校  
移行支援部 No. 5  
令和 7 年 1 月 12 日

## 9月17日 高等部1年生職場見学

校内実習中の1日、高等部1年生が進路学習として、二つの職場を見学してきました。

### 特例子会社 パーソルダイバース株式会社 とみおか繭工房 妙義（富岡市妙義町中里）

【勤務時間】8：55～15：55

【通勤方法】自力通勤、上州富岡駅／松井田駅からの通勤バス利用可

【仕事内容】○養蚕チーム：蚕を育てて繭にする作業、桑園作業

○アグリチーム：ナス・サツマイモ・下仁田ネギ・ほうれん草等野菜栽培

○アネックス作業：桑枝を使用した和紙製品の原料作り、シルク製品の製作等



#### 【生徒からの質問】

○一般企業で働くために必要なことは何ですか？

採用担当の方より「年齢が違う、いろいろな人とかかわるために、

コミュニケーション（挨拶、お礼の言葉、言葉掛け）が大事です」

○楽しいことややりがいは何ですか？

本校卒業生より「蚕の世話（桑やりなど）をすることです」



初めて本物の蚕を見る生徒もいました。

### 福祉サービス事業所 社会福祉法人青嵐会（高崎市吉井町）

○せいらん

【勤務時間】9：00～16：00

【通勤方法】送迎バス（拠点送迎）利用可

生活介護【仕事・活動内容】軽作業（バリ取り等）、創作活動

就労継続支援B型【仕事内容】配線（車のライト）や

文房具（シャーペンやボールペン）の内職



○共生コーポレーション 就労継続支援B型

【勤務時間】8：15～17：15

【仕事内容】全国各自治体のゴミ袋の製袋加工作業

○グループホーム 青雲寮

居室、食堂、リビング、お風呂等を見学しました。



#### 【生徒からの質問】

○仕事で大変なことは何ですか？ 本校卒業生より「集中することです」

○働くためにどんな練習が必要ですか？ 本校卒業生より「正確に作業する練習です」



せいらんでは音楽活動（楽器演奏）をしていて、毎日15分ほど楽器の練習の時間があるそうです。今回の見学会でも、演奏を聞かせてくださいました。

## 9月30日 企業等採用担当者学校見学会

一般企業、福祉サービス事業所、支援機関から大勢のお客様をお迎えし、本校の教育の説明や、高等部作業学習の見学会を行いました。高等部3年生より就業体験で学んだことの発表、製造業で働く本校卒業生の紹介、講演会では、障害者就業・生活支援センター所長様よりお話しいただきました。

### 有限会社群栄樹脂様で働く本校卒業生のインタビューをご紹介いたします。

高等部在学中は、小売業で現場実習をしてみて、お客様対応が難しかったため、自分の手でできる仕事を探しました。農業を中心とした特例子会社、製造業の会社での清掃作業などで見学実習し、現在の会社で計3回現場実習をしました。

はじめは言葉でのコミュニケーションや、機械を扱うことが難しかったですが、職場のみなさんがとても優しくしてくださって、安心して働くことができました。

#### ○学生と社会人で違うことは

学生の場合は立場が等しい友達と、みんな一緒に授業を受けたり作業をしたりします。一方、社会人は、同じくらいの年齢の同僚が少なく、年上の方や上司と、敬語で会話をしたりコミュニケーションをとったりしながら仕事をすることが違います。

#### ○楽しいことは

作業の合間の休憩中に、同僚の方とコミュニケーションをとることが楽しいです。

#### ○大変なこと・頑張っていることは

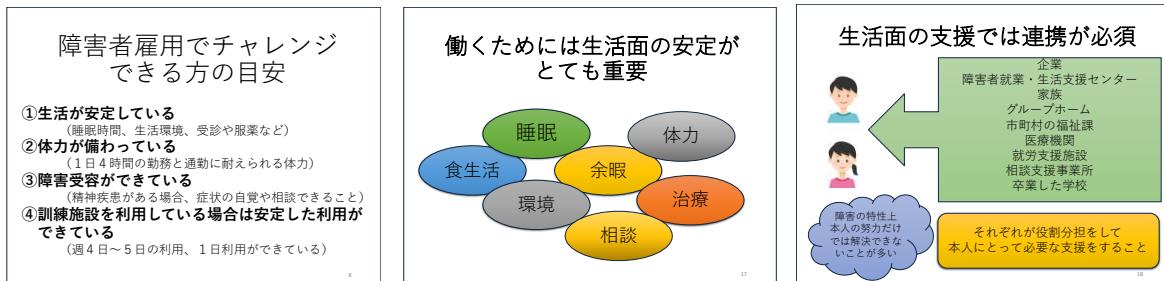
日によって、受注量が多い時や納期が短い時は、作業が大変です。自分のペースで作業ができなくなったり、休憩が少なくなったりします。休憩を減らすと、体力や集中力が続かなくなり、失敗が増えるので大変です。大変な時にも作業を続けることを頑張っています。

#### ○これから会社で働いて、やりたいことは

今は工場長さんやパートさんにつきながら教わっているので、少しづつできることを増やしていきたいです。作業の工程や難しさを10段階で言うと、今は3~4割なので、8割できるようになることを目指したいです。



### 「障害のある方を雇用するときに大切なこと」障害者就業・生活支援センター トータス 佐藤所長様 講演内容の中から、児童生徒の進路に関するご紹介いたします。



### 参加者の感想の一部をご紹介いたします。

- ・特別支援学校の生徒さんたちが普段どのような学校生活を送っているのかよく知ることができました。
- ・学校での支援の様子、やり方がよくわかりとても勉強になりました。事業所でも取り入れてみようと思います。実習を受け入れる際のヒントが沢山得られました。
- ・作業学習の見学について、生徒さんに話を伺いました。気を付けている点などを生徒さんご自身がしっかりと把握して作業を行なっていることを確認できました。
- ・就業体験の発表について、実習を重ねるごとにどんどん成長していっていることを、報告を聞いていた側も、またご本人も実感されているということは、やはり実習の必要性・重要性を実感しました。
- ・卒業後の就労生活について発表を聞き、社会へ出ていくとご本人の中で生徒の時と社会人になってからの違いを身をもって実感されたのだろうと感じました。そのことをどのように乗り越えていくかは実社会での経験になると思いますが、実習の時にも模擬体験されていたのかなと想像しました。